



KYOTO NATIONAL MUSEUM

2018 July to September, vol.199



特集展示
新収品展

特集展示
謎とき美術！最初の一步

特集展示
百萬遍知恩寺の名宝

特別展
京のかたな
匠の技と雅のこころ

京都国立博物館

だより

二〇一八年
七・八・九月号



特集展示

新収品展

6月12日(火)～7月16日(月・祝)

〔平成知新館 2F―11F―2〕6〕

平成二十二(二〇一〇)年一月～二十九(二〇一七)年三月に購入やご寄贈によって当館の所蔵となった文化財のうち、国宝一件、重要文化財(重文)六件を含む八十件の作品をご紹介します。旧平常展示館建替などのため、まとまったかたちで公開する機会がなかなか設けられませんでした。このたびようやく皆様にご覧いただくことが叶いました。

注目作品をいくつかご紹介しましょう。「人物鳥獣画卷」は、江戸時代の画家・長澤蘆雪(一七五四～九九)の比較的若い頃の作とみられます。コロコロとした犬や寝転がった蝦蟇鉄拐など生命感あふれる人や獣が、横長の画面に巧みな水墨とさわやかな色彩で表されています。多くの方に愛していただける魅力をもった作品です。

重文「正親町天皇宸翰消息」は、正親町天皇(一五一七～九三)の堂々たる筆致が感じられる手紙です。正倉院に伝わる有名な香木「蘭奢待」についての内容で、織田信長(一五三四～八二)が強引に木片を切り取ったという、あの有名な事件の直後に記されました。「ふりよ(不慮)」という文言に、天皇の苦々しい思いがにじみ出ています。

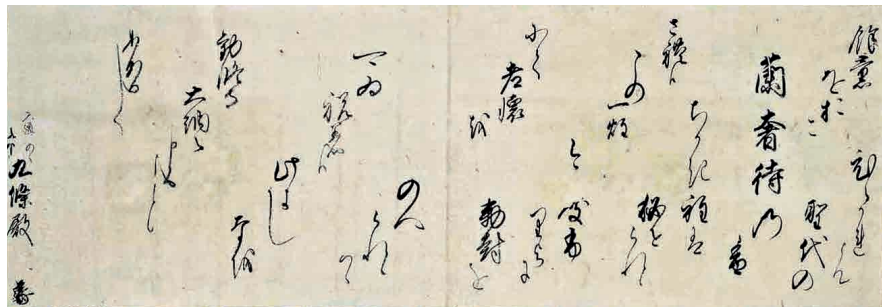
「古松瑞雲図」は中国・清時代に描かれた比較的大きな作品ですが、なんと筆ではなく指や爪に墨を付けて、存在感のある松を描き出しています。こうした絵を「指頭画」といい、筆者の朱嶠はこの技法を得意とした人物でした。間近で、特殊な技巧のおもしろさを感じてみてください。

その他、尾形光琳と乾山の兄弟合作である重文「鏤絵寒山拾得図角皿」や、中国・唐時代の貴重な写本である国宝「漢書楊雄伝第五十七」、京都府向日市から出土した重文「変形方格規矩鏡・変形獣文鏡」など、バラエティに富んだ作品の数々をご覧ください。百二十一年目を迎えた当館の新たな宝に、ぜひ会いに来てください。

(井並林太郎)



人物鳥獣画卷(部分) 長澤蘆雪筆 京都国立博物館



重要文化財 正親町天皇宸翰消息 九条種通宛(蘭奢待云々) 京都国立博物館



重要文化財 鏤絵寒山拾得図角皿
尾形光琳画・尾形乾山作 京都国立博物館



古松瑞雲図 朱嶠筆
京都国立博物館





重要文化財 龍虎図屏風 単庵智伝筆 京都・慈芳院



ギャラリー・トーク

特集展示「謎とき美術！最初の一步」を、
研究員と一緒に話しながら見てみましょう。

開催日：2018年8月19日(日)

開催時間：10時30分～11時00分
14時00分～14時30分

開催場所：平成知新館 1F-2 特別展示室

定員：各回先着 20名

推奨年齢：小学校1年生以上

講師：京都国立博物館研究員 水谷亜希

参加料：無料(※ただし、当日の観覧券等が必要)

参加方法：当日受付(開始時間の5分前までに、京都国立博物館の平成知新館グランドロビーにお集まりください)



【龍虎】
龍と虎は、なぜ一緒に描かれるの？
龍は雨や雲をあやつる伝説の生き物です。虎は中国・朝鮮半島では山の神とされ、うなると風が起ることも言われました。龍と虎は、天地を代表する特別な生き物として、よく一緒に描かれました。

お子さまや海外からお越しの方など、初めて日本美術にふれる方におすすめの展示です。解説文は小学校高学年から楽しめる日本語と、英語、中国語、韓国語をご用意します。謎解きをしながら、美術を楽しんでみましょう。

(水谷亜希)

特集展示 謎とき美術！ 最初の一步

7月21日(土)～9月22日(日)
【平成知新館 1F-2】

お寺の襖に描かれた龍や虎、着物にデザインされた松竹梅など、京都の街なかでもよく見かける、あの生き物や植物には、どんな意味が込められているのでしょうか。

お子さまや海外からお越しの方など、初めて日本美術にふれる方におすすめの展示です。解説文は小学校高学年から楽しめる日本語と、英語、中国語、韓国語をご用意します。謎解きをしながら、美術を楽しんでみましょう。

【松竹梅】

松竹梅は、なぜセット？

松・竹・梅は、寒い冬にも葉を繁らせたり花を咲かせたりします。その姿が、困難に負けない理想の生き方を表すと考えられました。この組み合わせは中国で生まれました。

松竹梅は、めでたいの？

松竹梅の組み合わせが日本に伝わると、「めでたいもの」と思われるようになりました。同じく中国から伝わった蓬莱山の伝説と混ざって、生命力などを表す、めでたい文様と考えられるようになったのです。



色絵松竹梅文高杯 京都国立博物館



獅子牡丹蒔絵黒箱 京都国立博物館

【獅子牡丹】

獅子はなぜ、牡丹のそばにいるの？

獅子と牡丹が組み合わされるようになった理由には、いろいろな説があります。日本では「平和な世の中を祝って、牡丹のそばで獅子が舞い踊る」という能や歌舞伎がはやっただので、多くの人が、その組合せをよく知っていました。

【鶴亀】

松竹梅と鶴亀は関係あるの？

蓬莱山という伝説の島には、不老不死の薬があるそうです。その島には、松や竹が生えて、鶴や亀が遊んでいます。このお話が日本に伝わると、梅が加わり「松竹梅に鶴亀」の組み合わせで「蓬莱山」や「不老長寿」を表すようになりました。



松竹梅鶴亀文様打掛 京都国立博物館

平成知新館 名品ギャラリー

3F-1 陶磁

【日本と東洋のやきもの】

【祝宴のうつわ・大皿】

6月19日(火)～9月22日(日)

3F-2 考古

【日本と韓国出土の考古遺物】

6月19日(火)～9月22日(日)

2F-1 絵巻

【特集展示 新収品展】

6月12日(火)～7月16日(月・祝)

【悲恋物語】

特集展示

百萬遍

知恩寺の名宝

8月7日(火)～9月9日(日)

【平成知新館 2F—1—5】



京都市街を南北に流れる鴨川の東側、京都大学吉田キャンパスの西北の角にある交差点は「百萬遍」と呼ばれています。毎月十五日に開かれるフリーマーケットの「手づくり市」や毎年秋の古本市で有名な「百萬遍」という地名は、京都大学の北側に堂宇を構える百萬遍知恩寺にちなんだものです。

同寺は浄土宗七大本山の一つで、浄土宗宗祖の法然上人（一一三三～一二一一）が開基となり、上人の高弟で第二世となった源智上人（一一八三～一二三九）が「知恩寺」と名づけました。元弘元年（一二三二）に勅命で七日間百万遍の念仏を修して疫病を除いたことから、「百萬遍」の名で今日にいたるまでに京都の人びとに親しまれています。

長い歴史をもつ知恩寺は、平成二十九年（二〇一七）に重要文化財（重文）の指定を受けた御影堂をはじめ、貴重な文化財を数多く有しています。浄土宗の大寺院として、近年、鎌倉時代の仏師の快慶の作であるという学説が示された阿弥陀如来立像を筆頭に、「浄土曼荼羅図」（重文）のように人びとに救済をもたらす浄土の世界をあらわした絵画や、「善導大師像」（重文）に代表される歴代の祖

師の肖像画がそろっており、まさに浄土宗美術の宝庫といえます。

また、日本の仏教美術だけでなく中国や朝鮮からもたらされた品も多く伝えられています。なかでも、奇想天外な仙人の姿を描いた「蝦蟇鉄拐図」（重文）は中国・元時代を代表する人物画家の顔輝が描いた、数少ない真筆として世界的に知られています。

このたび当館で百萬遍知恩寺の文化財を特集展示するのは、平成十九年度（二〇〇七）から同二十七年まで断続的に同寺の文化財調査を行ってきたご縁をいかしてのことです。長期にわたって可能な限り同寺が所蔵する文化財を調べる「悉皆調査」では浄土宗美術の名品だけではなく、円山応挙や高田敬輔ら近世絵画の優品も確認されました。

昨年、開館二〇周年を迎えた当館にとって、京都を中心とした寺院や神社に伝わる文化財を調査・保存・展示することは開館当時の使命のひとつでありました。社寺を対象とした当館の学術調査の成果の一環として、本展が京都に根差した浄土宗美術の精華に親しむ機会となることができましたら幸いです。

（図）孟晋



重要文化財 浄土曼荼羅図 京都・知恩寺



阿弥陀如来立像 京都・知恩寺



重要文化財 十体阿弥陀像 京都・知恩寺



阿弥陀三尊像 京都・知恩寺



絵入阿弥陀経（部分） 京都・知恩寺



重要文化財 蝦蟇鉄拐図のうち鉄拐図 顔輝筆 京都・知恩寺

現在、説法中

7月18日(水)～8月5日(日)

【特集展示】 百萬遍知恩寺の名宝

8月7日(火)～9月9日(日)

2F—2 仏画

【地蔵と十王】

6月12日(火)～7月8日(日)

【杉本哲郎筆シーギリヤ壁画模写

―夏の京都で熱帯を感じる!―

7月10日(火)～8月5日(日)

【特集展示】 百萬遍知恩寺の名宝

8月7日(火)～9月9日(日)

2F—3 中世絵画

【関東の水墨画家たちⅠ

―祥啓派と小田原狩野―

6月12日(火)～7月8日(日)

【関東の水墨画家たちⅡ

―個性の画家・雪村―

7月10日(火)～8月5日(日)

【特集展示】 百萬遍知恩寺の名宝

8月7日(火)～9月9日(日)

2F—4 近世絵画ほか

【釈迦堂縁起絵巻】

6月12日(火)～7月8日(日)

【海北派のゆくえ】

7月10日(火)～8月5日(日)

【特集展示】 百萬遍知恩寺の名宝

8月7日(火)～9月9日(日)

2F—5 中国絵画

【多名賀コレクションの中国絵画】

6月12日(火)～7月8日(日)

【「水」のある風景】

7月10日(火)～8月5日(日)

【特集展示】 百萬遍知恩寺の名宝

8月7日(火)～9月9日(日)

1F—1 彫刻

【日本の彫刻／閻魔と地蔵】

6月12日(火)～9月9日(日)

1F—2 特別展示室

【特集展示】 新収品展

6月12日(火)～7月16日(月・祝)

【特集展示】 謎とき美術！最初の一步

7月21日(土)～9月2日(日)

1F—3 書跡

【特集展示】 新収品展

6月12日(火)～7月16日(月・祝)

【五月一日経】

7月18日(水)～9月2日(日)

1F—4 染織

【特集展示】 新収品展

6月12日(火)～7月16日(月・祝)

【夏のきもの 単衣と帷子】

7月19日(木)～9月2日(日)

1F—5 金工

【特集展示】 新収品展

6月12日(火)～7月16日(月・祝)

【七宝のうつわ】

7月18日(水)～9月2日(日)

1F—6 漆工

【特集展示】 新収品展

6月12日(火)～7月16日(月・祝)

【豪商の蔵Ⅱ

―廣海家コレクションの漆器から―

7月18日(水)～9月2日(日)

※展示作品リストは、当館ウェブサイトをご覧ください。



特別展

京のかたな

匠のわざと雅のこころ

9月29日(土)～11月25日(日)

平成知新館

王城の地・京都では、平安時代から現代に至るまで多くの刀工が工房を構え、あまたの名刀を生み出してきました。これら京都で製作された刀剣は、常に日本刀最上位の格式を誇り、公家、武家を問わず珍重され、とりわけ江戸時代以降は武家の表道具として、大名間の贈答品の代表として取り扱われました。

また、近世の京都で、公家でありながら自ら刀を鍛えた千種有功や有栖川宮などを紹介し、武家文化だけでなく、公家・町衆を含めた京文化の中で刀工たちが果たした役割に迫ります。

本展では、現存する京都Ⅱ山城系鍛冶の作品のうち、国宝指定作品のほぼすべてと、著名刀工の代表作を中心に展示し、平安時代から平成にいたる山城鍛冶の技術系譜と、刀剣文化に与えた影響を探ります。

展示は時系列に沿いながら、次の八つの章で構成されます。

- 一 京のかたなの誕生（平安時代）
- 二 京のかたなと後鳥羽天皇（鎌倉時代前期）
- 三 京のかたなと吉光（鎌倉時代中期）
- 四 京のかたなの興隆（鎌倉時代後期）
- 五 京のかたなの苦難（南北朝～室町時代中期）
- 六 京のかたなの復興（室町時代後期～桃山時代）
- 七 京のかたなの展開（桃山時代～江戸時代前期）
- 八 京のかたなと人びと（江戸時代中期～現代）

京都国立博物館では初めてとなる本格的に刀剣を紹介する特別展となります。戦の道具でありながら、破邪の守りとして、また美術鑑賞品として今に伝えられた鋼の美を、ぜひご覧ください。

（末兼俊彦）



国宝 後鳥羽天皇像 大阪・水無瀬神宮
(9/29～10/14 展示)



重要文化財 騎馬武者像 京都国立博物館（通期展示）



重要文化財 太刀 菊御作 京都国立博物館（通期展示）
後鳥羽天皇ゆかりの品

国宝 太刀 銘則国 京都国立博物館（通期展示）
後鳥羽天皇の御番鍛冶に連なる栗田口派の名刀

重要文化財 太刀 銘山城国西陣住人埴虫明寿（花押）／慶長三年八月日他江不可渡之 京都国立博物館（通期展示）
豪壮華麗 桃山文化の体現者―埴虫明寿



祇園祭礼図屏風（部分）
京都国立博物館（通期展示）

第25回 国際博物館会議 (ICOM) 大会を 京都で開催！

3年に1回、世界中の博物館関係者3千人以上が一堂に会する国際博物館会議（ICOM）の第25回大会が、平成31年（2019）9月1～7日に京都で開催されます。博物館を核とした関西全体の盛り上がりが期待されています。今後の動きにぜひご注目ください。

国際博物館会議 京都大会

ICOM
KYOTO 2019
1-7 September



重要文化財 真如堂縁起 下巻（部分） 京都・真正極楽寺（通期展示：場面替あり）



よみもの

表？裏？

京都国立博物館研究員
上杉智英

ある休日の昼下りのこと。私「お昼どうする？」妻「何でもいい」「じゃあカレー」「カレーは嫌」「何でもいい？」とのやり取りから、結局、十円玉に決めてもらう。表はカレー。裏は冷麺。文句なしで。これで決定、と思いきや、妻「どっちが表なん？」。

どっちが表で、どっちが裏か。はつきりと決まっているものもあれば、あやふやなものもあつて表・裏はややこしい。担当している書跡にも「表？裏？」というものがある。先だつての国宝展に出陳させていただいた、鳩居堂ご所蔵の『伝藤原行成筆仮名消息』もその一つ。のびのびと気持ちのいい筆跡の仮名を散らし書きした十一世紀後半の名品。

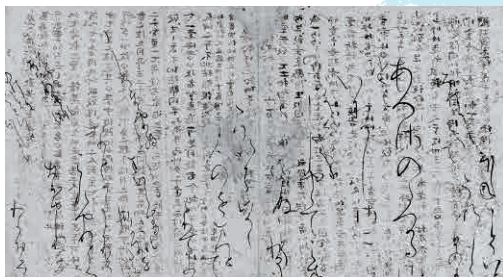
ご覧になられた方、裏の文字に気づかれたでしょうか。表の仮名の美しさに見とれて、気づかれなかった方が多いかもしれません。実は、この作品の裏には『三宝感応要略録』という仏教説話集が書かれています。「何で国宝の裏に？」。当然の疑問です。当時は紙の貴重な時代。どうやら要らなくなった手紙を集め、裏（白紙）に『三宝感応要略録』を書いたようです。つまり、表が『三宝感応要略録』、裏は『仮名消息』。この時（十一世紀後半、遅くとも十二世紀前半）、『仮名消息』の価値は認められておらず、扱いはリサイクルペーパー。しかも『三宝感応要略録』は袋綴じ装。『仮名消息』は折った紙の内側となり、今の袋綴じの中のように、外からは見えなくなりました。

こうして表舞台から消えた『仮名消息』。再び脚光を浴びるのは江戸時代後期の嘉永四年（一八五二）のこと。復古大和絵の絵師として有名な冷泉為恭。その王朝趣味は、絵だけでなく書にも及び、お寺から『三宝感応要略録』を譲り受けると、冊子をバラし、裏の『仮名消息』を表にして紙に貼り付け、二巻の巻物としました。この内の一巻が国宝展でご覧いただいた『仮名消息』です。つまり本作品は、

表	仮名消息	裏	白紙
表	三宝感応要略録	裏	仮名消息
表	仮名消息	裏	三宝感応要略録

と、その時代の所蔵者によって表裏を代えつつ、いずれも大切にされ、今に伝わりました。手紙として想いを届けた『仮名消息』、仏・法・僧のありがたい靈験を説く『三宝感応要略録』、平安時代の仮名の美しさを伝える『仮名消息』。それぞれ内容、意義は異なりますが、それらが表裏をなす過程も含めて、実に魅力的な名品です。

「裏表 なきは君子の 扇かな」とは言うものの、思いがけない一面にハッとさせられ、またそこに魅力を感じてしまうのは、人も書跡もいっしょに。と冷麺をすすりながら、ゆるゆると思いをめぐらすお昼でした。



国宝 伝藤原行成筆 仮名消息 鳩居堂蔵（赤外線撮影）

土曜講座

7月 7 日「法隆寺金堂壁画再入門」
京都国立博物館学芸部長 朝賀 浩

7月14日「杉本哲郎と堂本印象
—京都府立堂本印象美術館リニューアルに寄せて—」
京都国立博物館保存修理指導室長 大原嘉豊

7月21日「奈良写経の魅力—五月一日経—」
京都国立博物館研究員 上杉智英

8月 4 日「願いを託された動物・植物—吉祥文様入門—」＊
京都国立博物館研究員 水谷亜希

8月25日「百萬遍知恩寺の歴史」＊＊
浄土宗大本山百萬遍知恩寺法主 福原隆善 氏

9月 1 日「もっと見たい！もっと見せたい！廣海家の漆器コレクション」
京都国立博物館教育室長 永島明子

9月 8 日 ＊＊
「京都の社寺と博物館—京都国立博物館による百萬遍知恩寺什物調査について—」
京都国立博物館主任研究員 呉 孟晋

＊…特集展示「謎とき美術！最初の一步」関連講座

＊＊…特集展示「百萬遍知恩寺の名宝」関連講座

※平成知新館 講堂にて、13時30分～15時に開催。定員200名、聴講無料（ただし当日の観覧券等が必要）。
※当日12時より、平成知新館1階グランドロビーにて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します。

講座・イベント

《ICOM 京都大会ブレイVENT「明治古都館特別公開」》

国際博物館会議（ICOM）第25回京都大会のブレイVENTとして、明治古都館を特別に公開します。明治古都館の概要と現状、今後の改修・活用計画等の説明とあわせて、内部をご覧いただけます。どうぞご参加ください。

日 時：7月27日（金）17時～18時、8月25日（土）16時～17時

会 場：明治古都館

※定員200名、参加無料（ただし当日の観覧券等が必要）。
※当日の開始30分前に平成知新館グランドロビーにて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します。

《京都・らくご博物館【夏】～納涼寄席～ vol.49》

日 時：8月3日（金） 18時30分 開演（18時開場）

会 場：平成知新館 講堂

出 演：桂米輝 桂佐ん吉 笑福亭松喬 <中入> 桂あさ吉 桂米團治

入場料：3100円（キャンパスメンバーズは学生証提示により2500円）
全席指定、平成知新館名品ギャラリー観覧券付

※チケットご希望の方は電話、またはWEBよりお申し込みください。
お電話／博物館事業推進係 075-531-7504（月～金の10～12時・13～17時に受付 ＊祝日は除く）
WEB／<http://www.kyohaku.go.jp/jp/event/rak/vol49.html> らくご博物館【夏】申し込み画面

《特別展「京のかたな」記念講演会》

9月29日（土）「京のかたな」佐野美術館館長 渡邊妙子 氏

※平成知新館 講堂にて、13時30分～15時に開催。定員200名、聴講無料（ただし当日の「京のかたな」展観覧券が必要）。
※当日11時より、平成知新館1階にて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します。お並びの状況により、配布開始時間を早める場合があります。

これからの展覧会

◆新春特集展示 亥づくし—干支を愛でる—12月18日（火）～2019年1月27日（日）

◆特集展示 京の冬景色 12月18日（火）～2019年1月27日（日）

◆特集展示 美麗を極める中国陶磁 12月18日（火）～2019年2月3日（日）

国立博物館の展覧会

【東京国立博物館】

特別展「縄文—1 万年の美の鼓動」
7月3日（火）～9月2日（日）

【奈良国立博物館】

修理完成記念特別展「糸のみほとけ—国宝 綴織當麻曼荼羅と繡仏—」
7月14日（土）～8月26日（日）

【九州国立博物館】

特別展「至上の印象派展 ビュールレ・コレクション」
5月19日（土）～7月16日（月・祝）



◆ 名品ギャラリーの休止および部分開館のお知らせ ◆

特別展の前後を含めた期間は、展示作業等のため、名品ギャラリーを休止、または部分開館しております。ご来館の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

名品ギャラリー部分開館：9月4日（火）～9月9日（日）
2F—1～5、1F—1 展示室（3Fと1F—2～6は閉室）

名品ギャラリー休止期間：9月11日（火）～12月16日（日）

庭園のみ開館：11月27日（火）～12月16日（日）

ご利用案内

【開館時間】9：30～17：00

＊6月12日～30日の金・土曜日は20：00まで

＊7月1日～9月9日の金・土曜日は21：00まで

＊9月29日～11月25日の火～木・日曜日は18：00まで、金・土曜日は20：00まで

※入館は各開館の30分前まで

【観覧料】 【名品ギャラリー】

（6月12日～9月2日）

一般520円（410円）、大学生260円（210円）

（9月4日～9月9日）

一般260円（210円）、大学生130円（110円）

＊（ ）内は団体20名以上、高校生以下および満18歳未満、満70歳以上無料、障がい者とその介護者1名は無料（要証明）。

【特別展「京のかたな」】

一般1500円（1300円）、大学生1200円（1000円）

高校生700円（500円）

＊（ ）内は団体20名以上、中学生以下、障がい者とその介護者1名は無料（要証明）。

【庭園のみ開館期間】（9月11日～9月27日）

一般260円（210円）（庭園ガイド冊子付き）

＊（ ）内は団体20名以上、大学生以下、満70歳以上、障がい者とその介護者1名は無料（要証明）。

【休館日】 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館）
9月28日

アクセス

JR＝京都駅下車、市バスD2のりばより206・208号系統、D1のりばより100号系統にて博物館・三十三間堂前下車すぐ
ブリンセスラインバス京都駅八条口のりばより京都女子大学前行にて東山七条下車、徒歩1分

近鉄電車＝丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から出町柳方面行

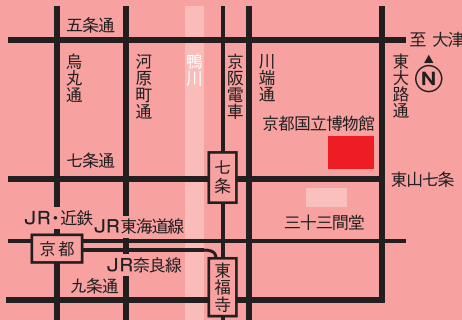
にて七条駅下車、東へ徒歩7分

京阪電車＝七条駅下車、東へ徒歩7分

阪急電車＝河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行きにて七条駅下車、東へ徒歩7分

駐車場は有料となっております。ご来館の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

＊「博物館だより」を郵送ご希望の方は、返信用封筒（角2封筒は120円、長3封筒は92円切手貼付、宛名明記）を同封して、当館企画室までお申し込みください。



〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527

TEL. 075-525-2473（テレホンサービス）

ホームページ <http://www.kyohaku.go.jp/>

発行日 2018年7月1日 デザイン 谷なつ子

編集・発行 京都国立博物館 印刷 株式会社
ライブアートボックス